

組織名	公益財団法人 大学コンソーシアム京都
-----	--------------------

1 組織概要

所在地	〒600-8216 京都府京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都内
TEL	075-353-9130
FAX	075-353-9101
URL	http://www.consortium.or.jp/
e-mail	seisaku-admin-ml@consortium.or.jp
設立	1998年3月19日
設置都市等	京都市
代表者	理事長 吉田 美喜夫

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	大学コンソーシアム京都と京都市が「大学のまち京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目指し、2011年度から2015年度まで「未来の京都創造研究事業」として調査研究を実施した。 2016年度からは、同事業の後継事業として「大学の知を活かした多角的な市政研究事業」に取り組む。研究期間は2年間
見直しの動向	—
役割(2016年時点)	【大学コンソーシアム京都】 ○事業全体の企画運営 ○事業運営委員会の運営 ○公募助成の実施 ○調査・研究グループの運営管理・助言 ○研究者等の発掘・育成(ネットワーク形成) 【京都市】 ○調査・研究テーマの検討 ○調査・研究成果の政策への反映 ○研究者等の発掘・育成(ネットワーク形成)のサポートと蓄積
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	<input type="radio"/> 1 自治体の内部組織 <input type="radio"/> 2 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="radio"/> 3 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="radio"/> 4 大学の附置機関 <input type="radio"/> 5 広域連合 <input type="radio"/> 6 その他(具体的に:)
常勤職員数	2人 職員47名のうち2名が担当
うち常勤研究員数	0人
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部有識者の活用(1を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 3 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 4 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 5 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない
庶務体制	常勤職員2名で行っている。
市民参加、外部連携	加盟大学・短期大学

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2016年度予算	6,000 千円	
2015年度決算	7,557 千円	
2014年度決算	7,545 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	1. 補助金等収入
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績		
	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	大学の知を活かした多角的な市政研究事業	指定テーマ「文化を活かした京都の活性化」について、テーマに応じた分野ごと(「観光と文化」「産業と文化」「暮らしと文化」「まちづくりと文化」)に、大学研究者による複数の研究ユニットを構築し、多角的な観点から分析・考察を行う。各ユニットによる研究結果を研究グループとして報告書にとりまとめ、最終的には京都市において市政課題解決に向け事業化する。
過去3年間の研究実績 (成果物ベース)	<p><2015年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者雇用を実現する持続可能な「食の経営」についての研究 ○自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究 ○地域連携活動への参加が学生の意識に与える影響の分析に基づく効果的な大学・地域連携科目及び事業の開発に向けた研究 ○京町家における居住文化に対応した断熱改修手法に関する研究 ○京都市におけるまちなかの居場所運営の継続要因及び終了要因の抽出 <p><2014年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)の施行に伴う個人情報の保護、管理、利用及び活用のあり方に関する研究 ○交流の場づくりによる事業者・市民の育成とネットワーク形成にかかわる実証研究 ○外国人留学生の大学卒業後の就業に関する動向の分析と自治体、企業及び大学における支援方策に関する研究 ○京都市郊外の市営住宅とその周辺住宅地における空間構成と変遷について ○京都市における「フューチャーセンター」を活用した次世代型市民協働政策についての研究 ○京都市内における住宅庭の環境およびその減少が街区の生物相に与える影響 <p><2013年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○京都の伝統、文化や観光など京都ならではの魅力に生物多様性保全が果たす役割と今後必要とされる方策 ○ソーシャルビジネスを成功させる条件と必要とされる方策 ○幹線道路に隣接する細街路の都市計画上の課題 ○和装関連市場における新たなセグメントとその特性の分析 	
定期刊行物	なし	

(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 2 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 3 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 4 貴団体・組織で自ら発案(3を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:京都市の大学政策担当及び各部署、委員会等と協議の上、決定)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 2 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 3 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 4 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 5 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 2 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 3 外部有識者から評価を受けている(2を除く) <input type="checkbox"/> 4 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 6 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	<input type="checkbox"/> 調査・研究のマネジメント <input type="checkbox"/> 調査・研究成果のとりまとめ <input type="checkbox"/> 研究者情報の収集・蓄積・活用 <input type="checkbox"/> 研究発表会や交流会の開催 <input type="checkbox"/> 調査・研究内容のデータベース化
研究員の専門性 育成の手立て	—
研究員のキャリアパス等	—
その他	—